

ごあいさつ

1890年の創業以来、エマソンは技術革新と事業変革を重ね、お客様とともに歩んでまいりました。現在では、イノベーションを事業の中核に据え、計測・制御機器、バルブ、産業用ソフトウェア、AI（Artificial Intelligence：人工知能）、サービスを組み合わせたオートメーションソリューションを世界各地で提供し、お客様の安全性、生産性、持続可能性の向上を支援しています。
エマソンのアジアにおける歩みは、日本から始まりました。
1961年の日本法人設立以来、日本のお客様とともに技術と製品を磨き、その知見を世界へ還元することで、国内外の産業の発展に貢献してきました。これからもグループ全体の総合力を活かし、幅広い産業の課題解決と新たな価値の創出に取り組んでまいります。

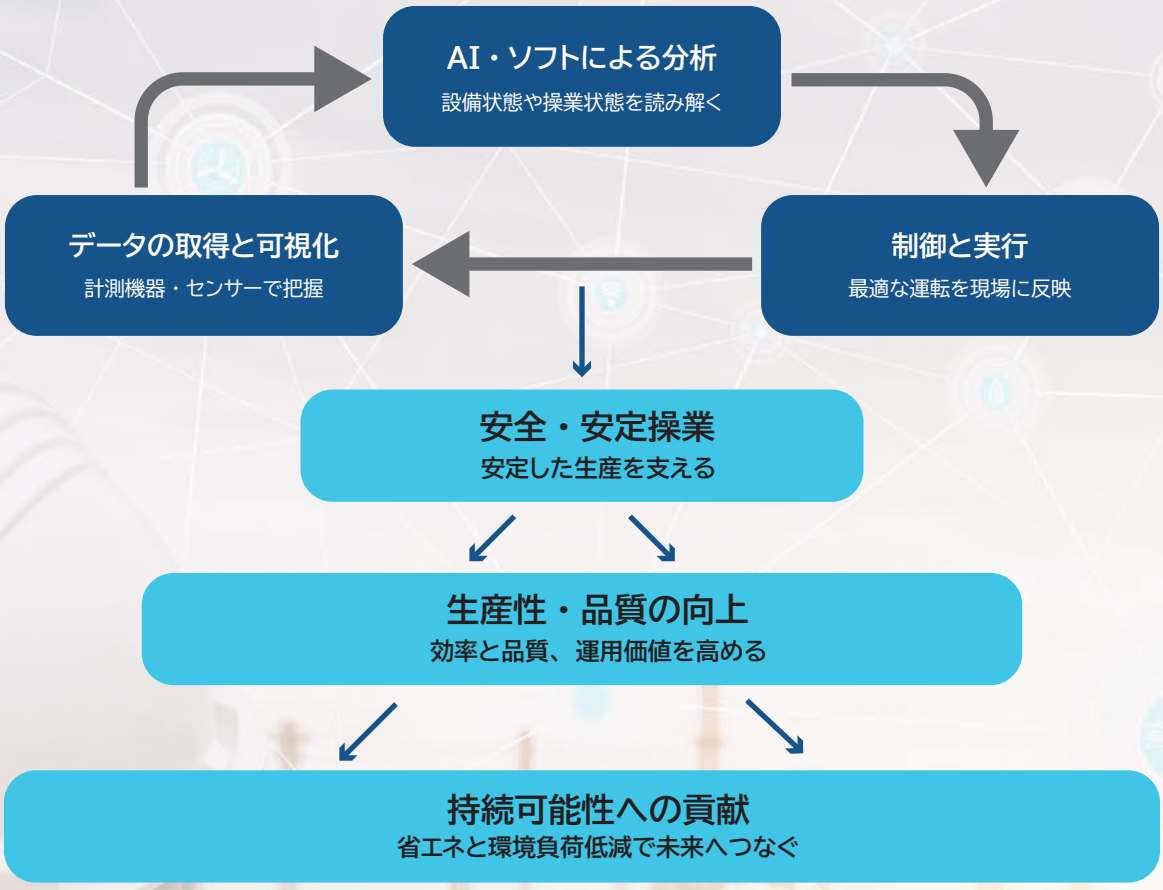
日本エマソングループ　代表
橋本　良



日本エマソン会社概要
名　称　日本エマソン株式会社 Emerson Japan, Ltd.
所在地　〒105-0023
住　所　東京都港区芝浦１丁目2-1シーバンスN館 17F
連絡先　電話:03-4572-6800

計測から制御、AIによる最適化まで、現場の課題解決を支援

米国ミズーリ州セントルイスに本拠を置くエマソンは、世界117か所の製造拠点と約71,000名の従業員を擁するグローバルオートメーション企業です。計測機器、バルブ、制御システムなどの製品単体の提供にとどまらず、AI（人工知能）やソフトウェアを組み合わせたオートメーションソリューションを通じて、世界各地のお客様の操業全体の最適化を支援しています。
現場データの取得から分析、制御、改善までをつなぎ、安全性、生産性、品質、持続可能性の向上に貢献します。



世界の重要産業を支える技術と実績

エマソンのオートメーション技術は、世界各地の製造業、エネルギー、ライフサイエンス、半導体などで活用されています



電力

約20%の電力会社で、エマソンの技術を活用して発電を自動化



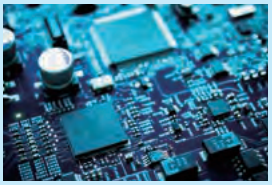
化学

化学メーカーのトップ20社中19社のオペレーションをエマソンのソフトウェアで最適化



石油・ガス

世界のLNGの流通量の約70%がエマソン製のバルブを通過



半導体

半導体メーカートップ10社中9社がエマソンの技術を採用



ライフサイエンス

製薬企業25社中25社がエマソンの技術を採用

計測からAIによる最適化まで操業全体を支えるポートフォリオ

エマソンは、世界の産業現場で培った技術と専門知識を基盤に、計測・制御機器、バルブ、AI搭載ソフトウェア、およびシステムなどを網羅する包括的なオートメーションポートフォリオを展開しています。
日本国内では、6法人10事業部・ビジネスユニットがそれぞれの専門性を活かしながら連携し、お客様の安全性、生産性、信頼性、持続可能性の向上に貢献します。

本ページでは日本国内のエマソン全体のポートフォリオを示しています。

各法人、事業部・ビジネスユニットの詳細は、 別冊リーフレットをご覧ください。

日本エマソン株式会社
- エマソン・プロセス・マネジメント事業本部
  - コントロールシステム&ソフトウェア ビジネスユニット
  - メジャメントソリューションズ ビジネスユニット
- ブランソン事業本部
- プロフェッショナルツール事業部

日本フィッシャ株式会社
- プレッシャーマネジメント事業部

アスペンテックジャパン株式会社

エマソンバルブアンドコントロールジャパン株式会社

日本アスコ株式会社

日本ナショナルインスツルメンツ株式会社



日本国内での事業展開

エマソンが提供する製品の一部は、日本国内で製造・組み立てを行っております。海外から輸入する製品は、お客様のご要件に適合するよう、専門的な知識と技術を学んだエキスパートが検査、調整を行っております。

主要な工業地帯の近くに営業所やサービスセンターを構え、また日本全国にネットワークのある販売店、パートナー企業の協力のもと、販売からメンテナンスまで、お客様のニーズにお応えします。



複数のグループ法人が集まる本社オフィスと、東日本・西日本のソリューションセンターでは、各事業部・グループの専門性を活かし、製品・システムのライフサイクル全体を通じてお客様を支援しています。実機を使った製品紹介、専門家によるトレーニング、ハンズオン、デモシステムの見学など、エマソンの製品やソリューションへの理解を深めていただける機会を提供しています。詳しくは、エマソンの担当営業または販売店へお問い合わせください。



本社ショールーム
東京都港区



千葉ソリューションセンター
千葉県市原市



水島ソリューションセンター
岡山県倉敷市

各法人、事業部・ビジネスユニットの本社、主要拠点、提供する製品、サービスの内容は、別紙のリーフレットをご確認下さい。

デジタル、オートメーション技術で、より持続可能な操業へ

エマソンは、持続可能な社会の実現に向けて、明確な目標のもと環境負荷の低減に取り組んでいます。

■気候変動への対応
2045年までにバリューチェーン全体でネットゼロを目指し、SBTi認定目標に基づきスコープ1・2・3の排出量を削減します。

■エネルギー効率の向上
2030年までにエネルギー原単位を大幅に削減し、再生可能エネルギーの導入をグローバルで拡大します。

■廃棄物削減・資源循環
2032年までに製造拠点で埋立廃棄物ゼロを目指し、再資源化・リサイクルを促進します。

■水資源の保全
製造拠点とサプライチェーン全体で、水使用量の削減と効率的な管理を推進します。

■組織と人材の取り組み
2032年までに、グローバル拠点での環境活動と従業員参画を通じ、持続可能な企業文化を構築します。

■外部評価
EcoVadisゴールド評価（上位5%）、CDP　Aリスト（気候変動・サプライチェーン評価）に選定されています。

2026年1月の時点での情報に基づいて記載しております。
最新のエマソンの取り組みやその成果については、ウェブサイトで公開しておりますサステナビリテレポートでご覧いただけます。

GOLD | Top 5%
ecovadis
Sustainability Rating
SEP 2025

企業パーパスの体現
エマソンは、先進技術と専門知識、探究心を結集し、お客様や社会の課題解決に取り組んでいます。世界の社員をつなぐ共通のパーパスが、私たちの判断と行動の指針です。

エマソンは、世界をより健康、安全、スマートで、より持続可能なものにするイノベーションを推進します。
複数の組織で共通の価値観（バリュー）を指針とし、確かな目的意識を共有することで、私たちは明るく開かれた企業文化の醸成に努めています。

エマソンの7つのバリュー

誠実さ　安全と品質　従業員サポート

お客様第一　継続的な改善　コラボレーション　イノベーション

日本エマソンおよびエマソングループ沿革

	1932年	北村商店　設立（後の北村バルブ）
米国エマソンエレクトリックの 日本法人“フューサイト株式会社”設立 日本エマソンの前身となる	1961年	
	1969年	日本フィッシャ株式会社　設立 ブランソンジャパン　設立
	1970年	日本アスコ株式会社　設立
日本エマソン株式会社に社名変更	1974年	日本フィッシャ 佐倉工場 操業開始 リッジ事業部　設立
	1978年	キーストンジャパン設立
ASCOが傘下に加わる	1985年	
BRANSONが傘下に加わる	1986年	
	1987年	日本キーストン発足 （キーストンとガデリウスヤーウェーが合併）
	1989年	日本ナショナルインスツルメンツ株式会社　設立
FISHERが傘下に加わる	1992年	
	1997年	日本キーストンがタイコグループに加わる
	2008年	タイコフローコントロールジャパンと 北村バルブが合弁会社を設立
	2012年	タイコフローコントロールジャパンがペンテェア グループの傘下に加わる
	2017年	ペンテェアバルブコントロール部門が傘下に加わり、 エマソンバルブコントロールジャパン株式会社となる
AspenTechが傘下に加わる NIが傘下に加わる Fleximが傘下に加わる	2023年	
東京都港区にエマソングループ 統合オフィスをオープン		

エマソンには長い歴史があります。時代とともに変革を重ねながらも、創業以来受け継ぐイノベーションの精神を原動力に、これからもお客様とともに製造業の発展と新たな未来を支えてまいります。

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org
ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C002089

Copyright © 2026, Emerson All rights reserved.

